

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名	自治会連絡協議会運営事業		担当課	市民協働推進課	
総合計画	政策	みんなで築くまち		計画期間	平成16年度～
	施策	地域コミュニティの充実		種別	任意的事務
	基本事業	コミュニティ活動の活性化と環境づくり		市民協働	事業協力
予算科目コード	01-020702-05 単独	根拠法令・条例等			

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成14年5月の区長会議で、ある区長から区長相互の情報交換を図るため、組織を立ち上げてはどうかと提案があり、区長連絡協議会を立ち上げた。平成16年11月に自治会連絡協議会と名称を改正した。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を6地区に区分し、それぞれの地区から4名ずつ選出された代議員による代議員会を設置している。また、各地区から1名の役員を選出し、6名の役員による役員会を行っている。 ・代議員会、研修会、市長との懇談会等を開催し、情報交換や組織の充実を図る取り組み、課題解決に向けた話し合い等を行っている。 ・茨城県自治会連合会に加入しており、総会や情報交換会、県知事との懇談会等に参加し、他市町村との情報交換を行っている。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
区長が相互に情報交換等を行い、自治会の抱えている課題等の解決を目指すことで、区長同士の連携を強くする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民主体のコミュニティ活動を行いやすくする活動基盤を整える。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
課題となっている自治会加入率向上に向けた方策や、区長輪番制等について代議員委員会での検討を継続、代議員で議論したことを他の区長に還元する場としての研修会を行う。	代議員の発案で、代議員が毎年交代しても機能する組織作りを目指し、組織の見直しを行った。機能していない役職を廃止することで、役員を各支部から1名のみとした。加入率の問題は今後も引き続き協議事項とした。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
役員会、代議員会、研修会の開催回数（回）	5.00	6.00	5.00	5.00	5.00
茨城県自治会連合会への参加回数（回）	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	役員会等の開催回数、県連合会への参加回数ともに目標値を達成している状況にあるが、1年で交代する区長が多いことから、組織として充実していくのは難しい状況である。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<ul style="list-style-type: none"> 自治会加入率の向上など、自治会連絡協議会において議論する内容は、1年で答えが出せるものではないため、組織体制の見直しについて検討を行う。 平成29年度から、区長業務説明会開催事業と統合し、事業名称を区長制度運営事業に変更する。 			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	81	72	49	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	81	72	49	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	156.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	640	0	0
トータルコスト		81	72	689	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	コミュニティサロン事業	担当課	市民協働推進課	
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間	平成22年度～
	施策	地域コミュニティの充実	種別	任意的事務
	基本事業	コミュニティ活動の活性化と環境づくり	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-020702-07 単独	根拠法令・条例等	守谷市空き家等活用コミュニティ推進事業実施要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市長公約により事業開始	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館をもたない自治会・町内会等の団体が、自主的にコミュニティサロン開設を申請し、市が申請を認定した場合は空き家等を借上げ、申請団体が空き家等を利用し地域住民の交流の場となるコミュニティサロンを開設運営する。 ・空き家等の借上げに要する経費は市が負担し、維持管理及びコミュニティサロンの開設運営に要する経費は申請団体が負担する。市の負担は、契約時に係る費用（敷金・礼金・不動産仲介手数料等）と月額10万円（限度額）の家賃である。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
地域住民の交流の場を確保することで、地域住民の交流機会が増え、多様な地域コミュニティの活性化、住民同士の絆に結びつく。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民主体のコミュニティ活動を行いやすくする活動基盤を整える。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
建築基準法の用途に適合しない建物での申請が多いことから、事業手法の変更等を含め、今後の事業内容の再検討が必要である。	区長業務説明会等でコミュニティサロン制度を周知、募集した結果、今年度は1件の募集があり、建築基準法の用途に適合する物件であったため建物の改修もなく開設できた。 事業手法の変更等の検討は今後の課題とする。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
コミュニティサロンの開設数（箇所）	4.00	4.00	5.00	6.00	10.00
コミュニティサロンの新規開設数（箇所）	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	建築基準法等の縛りがある中で、1件ずつではあるが、着実に成果が向上している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法等による制限等により、使いづらい制度になっていることから、事業の抜本的な改正が必要な時期に来ていると思われるため、平成29年度以降に制度の見直しを検討する。 ・平成29年度から、類似事業である自治公民館建設補助事業と統合し、事業名称を自治公民館事業に変更する。 			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	4,550	4,548	5,418	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,550	4,548	5,418	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		4,550	4,548	5,418	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	自治公民館建設補助事業	担当課	市民協働推進課	
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間	平成 4年度～
	施策	地域コミュニティの充実	種別	任意的事務
	基本事業	コミュニティ活動の活性化と環境づくり	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-020702-08 単独	根拠法令・条例等	守谷市自治公民館建設補助に関する規則	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成4年に地域住民同士の交流及び地域づくりの推進のため、自治会・町内会等が管理運営する自治公民館の建設、修繕等に係る費用を助成する事業として開始した。	<ul style="list-style-type: none"> ・新築，増改築，修繕等の自治会からの申請を前年度の7月末までに取りまとめ，内容を審査上，翌年4月に補助金交付決定を行う。 ・工事完了後は，自治会から実績報告書の提出を受け，竣工検査の実施により補助金の確定行う。補助率は工事費の1/2
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
地域住民のコミュニティの場となる自治公民館の新改築・増築・修繕への補助により，適正な維持管理が行われることで，自治会等のコミュニティ活動の推進が期待できる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民主体のコミュニティ活動を行いやすくする活動基盤を整える。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
建物の新築，改修等により，町内会の集まりが多様化することで，地域のつながりがより強くなる。	コミュニティ活動の拠点となる自治公民館を新改築・増築・修繕する事で，地域の活性化に貢献した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
補助金の額（千円）	631.00	11,150.00	14,452.00	5,000.00	5,000.00
補助金の交付件数（件）	3.00	6.00	8.00	10.00	10.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	事業の浸透により，補助金の額・件数ともに増加しており，成果が向上している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	・自治会からの申請に応じての補助であるため，補助件数・金額に増減はあるが，申請に対しては概ね補助できていることから，今後も維持・継続が必要である。 ・平成29年度から，類似事業であるコミュニティサロン事業と統合し，事業名称を自治公民館事業に変更する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	631	11,150	14,452	8,140	8,140
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	8,140	0
	一般財源	631	11,150	14,452	0	8,140
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		631	11,150	14,452	8,140	8,140

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	北園集会室維持管理事業	担当課	児童福祉課	
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間	平成 9年度～
	施策	地域コミュニティの充実	種別	任意的事務
	基本事業	コミュニティ活動の活性化と環境づくり	市民協働	その他
予算科目コード	01-030201-05 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>地域社会の充実・発展を図るため、平成9年の北園保育所のオープンに合わせて、同施設内の集会室を地域住民に開放することとなった。</p>	<p>集会室の適正な維持管理を行い、地域交流の場として提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備委託，空調保守点検委託，環境衛生委託，消防設備点検委託 ・利用希望者からの申請を受け、貸出しを行う。
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>当該施設を適切に維持管理することで、地域住民に安全・快適なコミュニティスペースを提供し、地域活動等の発展につなげる。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>市民主体のコミュニティ活動を行いやすくする活動基盤を整える。</p>	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>改善内容（課題解決に向けた解決策）</p>	
<p>次年度のコストの方向性（→その理由）</p> <p><input type="checkbox"/>増加</p> <p><input type="checkbox"/>維持</p> <p><input type="checkbox"/>削減</p>	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
市民が安全に利用できるよう、適切な維持管理を継続的に行っていく。	市民が安全に利用できるよう、適切な維持管理を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
貸出件数（件）	20.00	30.00	26.00	30.00	30.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	自治会の活動の場として定着し、活発に利用されており、住民間の連携意識が高まっている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	市民が安全に利用できるよう、適切な維持管理を継続的に行っていく。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	691	744	626	669	669
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	691	744	626	669	669
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	12.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	49	0	0
トータルコスト		691	744	675	669	669